

和牛のオリンピック

全国和牛能力共進会が開催

10月11日からの4日間、鳥取県米子市などを会場に開催された第9回全国和牛能力共進会（全共）。5年に一度開かれ、「和牛のオリンピック」とも称される大会は、4日間で27万人を超える観客らが訪れるほどの盛況ぶりでした。

雲南市からも島根県の代表牛として、



「種牛の部」第3区（若雌の2）

【成績】1等賞入賞

出品者：山根智恵子さん（木次町）／出品牛：はなみづき号

和牛改良の成果を競う「種牛の部」に2頭、肉質を競う「肉牛の部」に1頭が出品されました。



「種牛の部」第7区（総合評価群：種牛群）

【成績】2等賞入賞

出品者：石飛由一さん（三刀屋町）／出品牛：まさふく号



「肉牛の部」第7区（総合評価群：肉牛群）

【成績】2等賞入賞

出品者：三刀屋肥育センター／出品牛：吉七号

日本に溢れる食品添加物

あなたはどうつきあいますか？



食品ジャーナリスト
安部 司さん

11月8日、『食品の裏側 みんな大好き食品添加物』の著者で食品ジャーナリストの安部司さんを講師に招いた雲南市産業振興センター主催の産業振興講演会がアスパルで行われ、市内食品製造業者や市内外の消費者およそ250人が「食」の現状や今後の食生活について学びました。

安部さんは、包装紙などに書かれている原材料について、『○○料』とか『□□剤』などは消費者にはわかりにくいので、『なぜ腐らないのか？』『なぜキレイな色のままなのか？』と尋ねて見ると奇妙なことがいっぱい」と食品の見方が重要であると説明。同時に、食生活の変化により味覚が麻痺し、添加物で作られた味がおいしいと感じている消費者が、これが入っていないものを作ろうとする人たちを「時代遅れ」とつぶそうとする日本の食文化に警鐘を鳴らしました。

「組み合わせ次第で、どんな味でも作ることができる」と、テーブルに並べた数十種類の粉末を混ぜ合わせて数種のジュースやインスタントラーメン

のスープを再現して見せる実演は抜群の説得力でした。
①安い、②簡単、③便利、④（見た目が）美しい、⑤味が濃い、といった添加物の魅力を呪文のように繰り返す安部さん。「取るか取らないかは個人の自由だが、体のこと、食育の面からも、加工食品や調理済みの食品に頼らず、家庭で食事を作ることが大切」と力説しました。



雲南ニユース

放射線医学の研究により白血病に侵され、病床に伏しながらも「平和を」「如己愛人」などの言葉を残し、生涯にわたり世界平和を訴え続けた永井隆博士の生誕100年を記念するコンサート「カヤノのためのエレジー」が10月29日、三刀屋文化体育館アスパルで開催され、鑑賞客約130人が博士の遺徳を偲び、世界平和への誓いを新たにしました。

公演の主催者の秋枝シュザンさんは、「博士生い立ちの地（雲南市三刀屋町）で演奏を行うことができ、とても嬉しい」とあいさつ。共催した三刀屋如己の会副会長の横川親雄さんも「本公演をベルギーと日本の友好の証とし、両国がともに平和を祈りましょう」と会場に訴えました。

コンサートでは、ソプラノ歌手と2人の楽器奏者（管楽器・打楽器）が原爆投下時の惨状や、戦前の美しい日本の情景、平和への誓いなど、喜怒哀楽

カヤノのためのエレジー三刀屋公演

永井博士を偲び世界平和の誓い新たに



を巧みに奏で、その演奏に合わせ秋枝茂夫さん（横浜市立大学名誉教授）が詩を朗唱すると、参加者らはそとと耳を傾けその意味をかみ締めている様子でした。

公演終了後、秋枝シュザンさんの提案により「長崎の鐘」を参加者全員で合唱。永井博士のふるさと・雲南市から世界平和の実現を祈りました。

「平和を」の都市宣言のまち

永井隆博士生誕100年

シリーズ⑨

今年は、永井隆博士生誕100年の年にあたることから、博士が残した恒久平和と隣人愛のメッセージを振り返り、顕彰していきます。

「己の如く人を愛せよ」の精神と「如己堂」



長崎市にある如己堂

長崎医大卒業後、放射線医学を専攻した永井博士は、結核患者が多く、医療機器も不十分だったことから、放射線を過量に受け、「慢性骨髄性白血病」に。1945年6月に余命3年と宣告されました。その2ヵ月後、長崎に投下された原爆により被爆。自身大ケガを負い、妻を失いましたが、被災者の救護活動に積極的に取り組みました。ケガによる出血をおしての救護活動中に失神すること数度、ついには寝たきりとなってしまいました。

それでも、病床にありながら数冊の著書を執筆。そんな博士の懸命な姿に共感した長崎の人々によって、博士の病室が造られました。わずかに坪強の広さでしたが、心温まるこの家に住むことを博士は喜び、「己の如く人を愛せよ」の精神に生きようと「如己堂」と名づけました。病室兼書斎となった如己堂で2人の子どもと生活し、ここから世界中の人々に戦争の愚かさや平和の尊さを発信し続けました。博士の恒久平和と隣人愛の精神は、今も多くの人に受け継がれており、如己堂はその象徴となっています。

永井隆記念館 ☎0954-45-2639（月曜日は休館）